



校訓 「自主・自立」



学校教育目標
『心豊かで確かな学力をもち、たくましく活動する生徒の育成』

目標達成のための具体的な取り組みと、学校評価アンケートの結果

○数値(%)は、アンケート結果の肯定的評価を表しています。

- * 肯定的評価……アンケートの各問の肯定的な回答の割合を合計して、%で示してあります。
- * アンケート中の質問の内容と数は、教職員、生徒、保護者と、対象によって異なります。

確かな学力	★わかる授業、意欲を高めるための授業改善 【職・生・保とも肯定的評価90%以上:達成】	職員 100%◎	生徒 100%◎	保護者 97%◎
	★学ぶ喜びを実感し、自ら主体的に行う家庭学習 【職・生・保とも肯定的評価75%以上:達成せず】	職員 75%◎	生徒 78%◎	保護者 46%◎
	★基礎学力の定着と多角的・多面的な思考を促す朝学習の充実 【職・生の肯定的評価90%以上:達成】	職員 100%◎	生徒 96%◎	
	・話し合いや発表、対話的な学習活動の充実	職員 92%		
	・個・集団それぞれにとって力がつく放課後学習会の充実	職員 64%		
	・外国語教育の充実	職員 100%		
	・自分の考えを人前で発表する表現活動の充実	職員 100%		
	・豊かな学びのための有効な予算執行	職員 92%		

豊かな心	★生徒の望ましい生活習慣づくり 【職・生・保とも肯定的評価80%以上:達成せず】	職員 83%◎	生徒 90%◎	保護者 51%◎
	★個別の支援が必要な生徒の情報共有と理解及び適切な支援 【職・保の肯定的評価90%以上:達成】	職員 100%◎	保護者 92%◎	
	・自他共にリスペクトする生徒の育成	職員 77%		
	・いじめを「許さない」、「させない」指導の徹底	職員 100%		
	・自発的な委員会活動	職員 100%		
	・読書や新聞を読む機会を通しての豊かな心の育成	職員 83%		

健康安全	★全校体制で継続的に楽しみながら体力を培う活動の推進 【職・生の肯定的評価90%以上:達成せず】	職員 42%◎	生徒 96%◎	
	★避難訓練・交通安全の安全教育を通して自分の命は自分で守ろうとする意識の向上 【職・生・保とも肯定的評価90%以上:達成】	職員 100%◎	生徒 96%◎	保護者 100%◎
	・安全で効果的な部活動の推進	職員 92%		
	・情報モラル教育の推進	職員 83%		
	・校内環境美化に推進	職員 100%		
	・施設・設備の適正な管理・整備	職員 92%		
	・生徒自身が考えて行う健康管理	職員 92%		
	・感謝の気持ちを育てる食育の推進	職員 100%		

家庭地域連携	★地域学校協働本部を活用した地域連携 【職の肯定的評価90%以上:達成】	職員 100%◎		
	・地域を知り、地域の探究意欲をかきたてるみさと学の推進	職員 100%		
	・ホームページや各種たよりによる情報発信	職員 100%		
	・三校連絡会を通しての小中連携の推進	職員 100%		
	・敷居の低い開かれた学校づくり	職員 100%		

本年度の指導重点の達成状況 (達成指標を満たしたかどうか)

項目	達成指標	達成の可否
わかる授業、意欲を高めるための授業改善	生徒・保護者・職員の肯定的評価90%以上	達成
学ぶ喜びを実感し、自ら主体的に行う家庭学習	生徒・保護者・職員の肯定的評価75%以上	未達成(保護者)
基礎学力の定着と多角的・多面的な思考を促す朝学習の充実	生徒・職員の肯定的評価90%以上	達成
生徒の望ましい生活習慣づくり	生徒・保護者・職員の肯定的評価80%以上	未達成(保護者)
個別の支援が必要な生徒の情報共有と理解及び適切な支援	保護者・職員の肯定的評価90%以上	達成
全校体制で継続的に楽しみながら体力を培う活動の推進	生徒・職員の肯定的評価90%以上	未達成(職員)
避難訓練・交通安全等の安全教育を通して自分の命は自分で守ろうとする意識の向上	生徒・保護者・職員の肯定的評価90%以上	達成
地域学校協働本部を活用した地域連携	職員の肯定的評価90%以上	達成

- 【生徒】・後輩たちのために勉強ができる空間をもっと作ってあげてほしい。(2)
 ・部費や給食のデザートが出る頻度を増やしてほしい。
 ・週番活動の見直しをした方がいいと思う。
 ・エアコンとストーブをつけられるようになる時期をもう少し早めてほしい。
- 【保護者】・いつもありがとうございます。子どもが学校生活を楽しんでいることが何よりありがたいです。(2)
 ・授業を聴きたいのに集中できない環境があるとのこと耳にし、改善していただけるとありがたいと思っております。
 ・いつもお世話になっています。担任の先生だけでなく、たくさんの先生方からご指導いただいております。いつも本気で真剣に子どもたちと向き合ってくださいありがとうございます。この1年でクラスがビックリするくらい良い雰囲気になりました。それがとても嬉しいです。
 ・先生方、お身体に気をつけてください。

回答の結果と考察

(1) 全般

- ・生徒、保護者、教職員への学校評価アンケートの肯定的な回答の割合を基に考察を行った。
- ・今年度指導重点として掲げた8項目中の5項目は達成することができ、達成率は62.5%であった。
- ・未達成だった3項目のうち、「家庭学習について」と「生活習慣について」の2項目は、2年連続しての未達成となった。特に保護者の肯定的な回答率が低く、家庭における時間の使い方について、学校と家庭が連携した取組を講じる必要性を感じる。

(2) 取組内容ごとの考察

ア 確かな学力

《概要》

今年度は毎週金曜日の朝学習に「礎タイム」をスタートさせ、「さんスタ」と合わせて「話す力」・「読む力」・「聴く力」・「書く力」の向上を目標に1年間継続して取り組むことができた。週3日間の国社数英理の朝学習による基礎学力の定着と合わせてバランス良く有意義な時間となったことが朝学習の高評価に繋がったと考える。一方で例年の課題とも言える「家庭学習の充実」は、12月に入り家庭学習のリニューアルを行ったこともあり、生徒・職員の肯定的な回答率は達成指標を上回ったが、保護者の肯定的な回答率は46%と、生徒・職員とは大きく乖離している。保護者の目から見て、家庭学習に気持ちが向いていない生徒が多いことが伺える。

《課題》

今の時代、生徒は携帯端末により、好きな時に好きな場所で自分の好きなことだけを選んで時間を費やすことが可能になった。このような環境下にある一部の生徒に「自分の好きなこと」よりも「家庭学習」に目を向けさせるには、どうしたら良いのか？模索の1年となった。

《来年度に向けて》

「分かる楽しさ」や「興味のあることへの探求」など、これからも生徒の学習意欲をかき立てる取組を中学生の頃に戻った気持ちで考えていきたい。同時に、生徒が端末と向き合う時間の制限など、家庭との連携も並行して進めていきたい。

イ 豊かな心

《概要》

「ア 確かな学力」の「家庭学習」についての項目と似た結果となった。生徒・職員の肯定的な回答率は達成指標を上回ったが、保護者の肯定的な回答率は51%と、ここでも大きな差が見られた。家庭での生活態度を目的の当たり前にしている保護者の約半数は、就寝時刻の遅さやスマートフォンやゲーム、動画視聴による乱れが課題と考えているのだろう。

「個別の支援」については、保護者・教職員共通して大変高い割合で肯定的な回答をしており、教員が生徒に寄り添いながらも必要に応じて毅然とした指導と適切な支援を行っていることが保護者にも伝わっていることを大変嬉しく感じる。

《課題》

概要に記した通り、半数以上の家庭における保護者は生徒の生活に乱れを感じていると見られる。保護者の目に、そう映っているにも関わらず生徒の肯定的な回答の割合は約90%にも上り、約半数の生徒が自分の生活習慣が望ましいものとは言えないことが自覚できていない。教職員の肯定的な回答率が高いのは、生徒の学校での様子を見る限り、生活習慣に大きな課題を感じていないからである。

《来年度に向けて》

今年度、生活リズムとは直接の関係は薄いが、生徒会本部が主催した取り組みにより、校内清掃における改善が見られた。生徒の生活習慣については学校と家庭の連携に加えて、生徒会本部や委員会が主体となる自治的活動を仕組みることによって改善を図ることができたらよいと考える。

ウ 健康安全

《概要》

「安全教育」については、生徒・保護者・教職員すべてにおいて肯定的な回答率が高く、充実が伺える結果となった。一方で「体力を培う活動の推進」においては生徒の肯定的な回答率は高かったが、「継続的に楽しみながら」の実践にまで至らなかった。

《課題》

「体力を培う活動の推進」についての具体的な取り組みが提案されたが、学校の忙しさに流され、実施まで漕ぎ着けることができなかった。

《来年度に向けて》

安全教育をさらに充実した内容や実践にしていくことに加え、今年度頓挫した取り組みに再チャレンジしたい。

エ 地域家庭連携

《概要》

すべての項目において高評価であった。

《課題》

現状を良しとせず、ビルド&スクラップの精神で、さらに家庭・地域との連携を深めていく努力をしたい。

《来年度に向けて》

小中連携については現在行っている取組を継続していきたい。地域学校協働本部の活動については、今年度から始まった教友会の方々にも協力してもらっての学習会を更に充実したものにしていきたい。